

丁午十一月一日(毎月一回)日發行

良改の路道

載 轉 禁

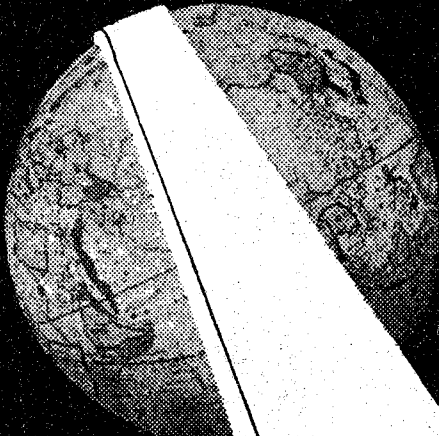
號一十第

卷七十第



行發會良改路道

鋪裝なら何んでも…



日本鋪道株式會社

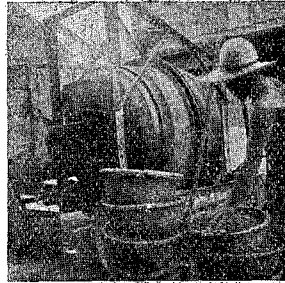
東京・丸之内
大阪・名古屋・京都・福岡・台北・新京

混合用エマルビア施工順序

1 混合用エマルビア



2 混合用骨材 (砂利)



3 混合



4 下層混合材練上



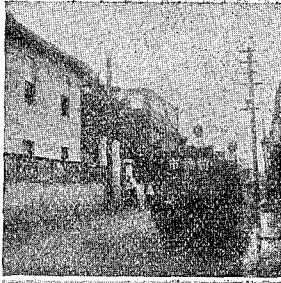
5 下層混合材敷均



6 碎石撒布



7 輾壓(第一回)



8 封緘層
透入用エマルビア撒布



9 同上
碎石撒布



10 仕上輾壓



專賣特許

瀝青乳劑エマルビア

製造販賣及鋪装工事請負

東京瀝材工業所

東京市京橋區銀座西三丁目一番地祿々館

電話京橋一、三二五番

區管澤町一、三一五番

電話鶴見一、一三一五番

東七番三、二九〇番

電話仙臺三、二九〇番

製造工場

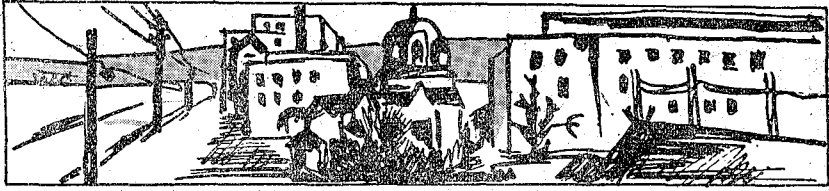
横濱市鶴見

仙臺市

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座西三丁目二、九

電話京橋自二一三〇至二一四九番



道路の改良 第十七卷 第十一號 目次 昭和十年十一月一日發行

口繪 那珂川橋 茨城縣 栃木縣
青岩橋 青森縣 岩手縣

卷頭言 (二)

論說

自動車交通の特色と道路計畫の意義 慶應大學教授 奥井復太郎 (三)

研究

フランス道路法制史(四) 内務事務官 武若時一郎 (三)

技術

建築構造に於ける融接並に瓦斯切斷に關する規定(二) 内務技師 青木楠男 (三)

土木工専用塗料の話(二) 内務技師 西川榮三 (五)

表題セメント混凝土鋪裝と目地材 日本ビテュ技師 松浦治郎 (空)

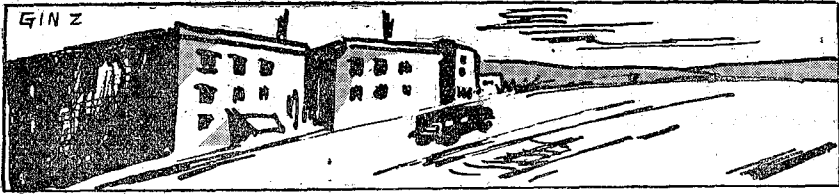
マルス會社技師 奈良原輝雄 (空)

海外道路時事

ベルシヤ王國の道路 獨逸 内務省土木試驗所長 工學博士 物部長 穗 (七)

自動車専用道路に於ける盛土の爆發沈定工法 橋床鐵

筋混凝土版の試験 各國に於ける道路改良の近況



漫 錄

噫道路改良會顧問床次竹二郎氏 (二) 洸 民 生 (六)

中仙道紀行 (二) H U 生 (六)

批評と紹介

國際道路會議委員會の議事に就て 工内 務 技 師 藤 井 眞 透 (二九)

道路損傷負擔金問題に就て 苦 勞 生 (二七)

最近内務省に於ける土木關係行政處分例 K N 生 (三三)

地方通信

北海道・關東・北陸・東山・近畿・中國・四國・九州・朝鮮・滿洲の各地方 (三九)

假 面 劇

人間を馬鹿にする教育? 其他 (四五)

雜 報

◎理事會開催◎内務省、道、府、縣、土木技術官一覽表、並本省地方廳土木職員一覽表◎土木
地方債許可概要◎交迭土木部課長の略歴 (三四)

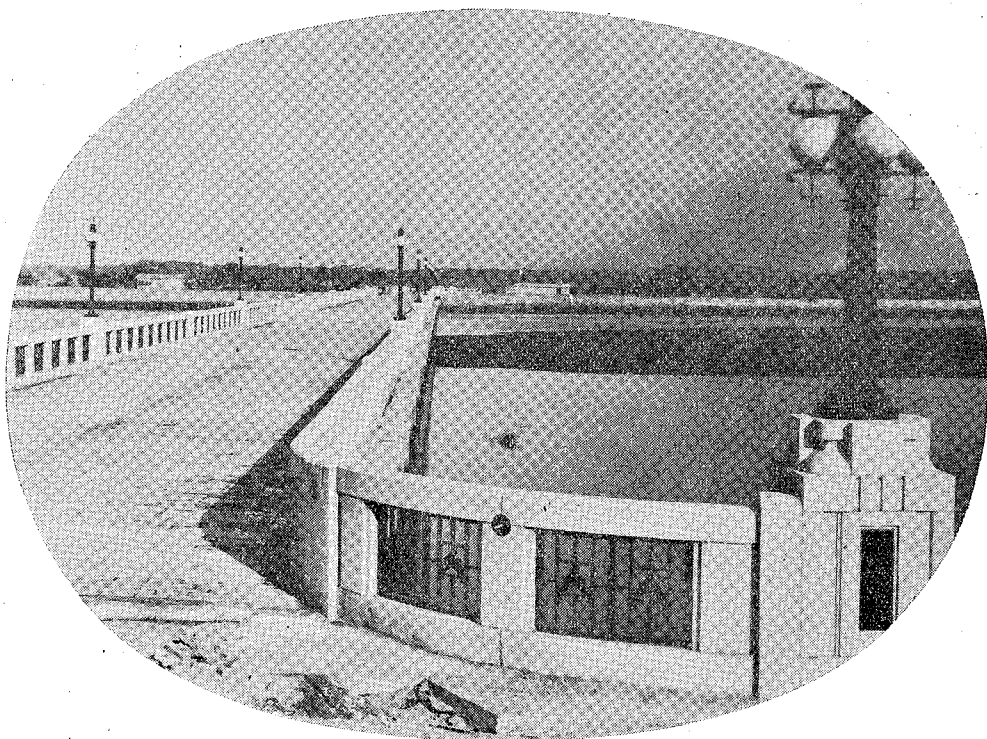
法 令 (三四)

叙 任 辭 令 (三五)

編輯室の内外 (三六)

附錄第八回道路職員講習會講演集(十三)

日立 アスファルトブロック



山口縣厚東川大橋

日本鑛業株式會社

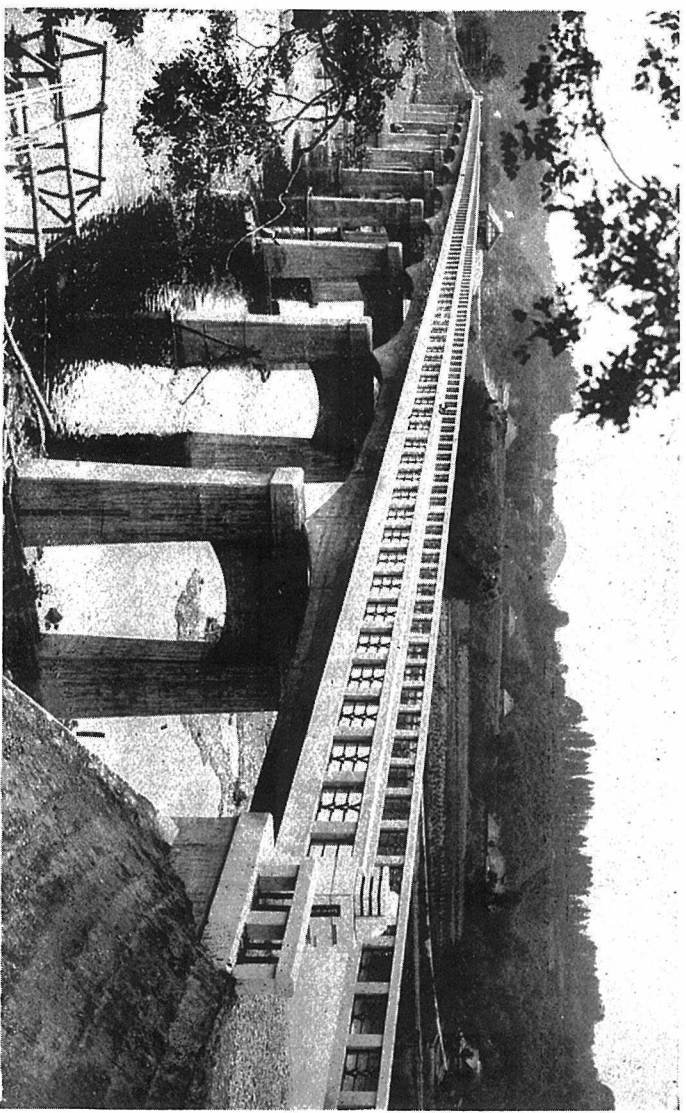
東京丸の内

電話丸の内(23)1241-7

大阪中ノ島

電話本局260-4

縣木柵——縣城茨 橋 川 珂 那

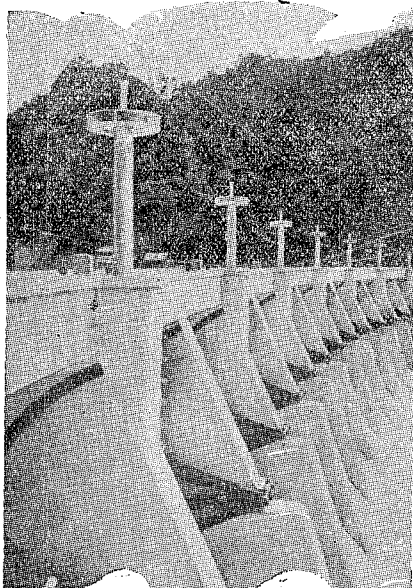


長延築橋 川珂那(岸右)野飯字大村川中郡賀芳縣木柵(岸左)田野字大村倉長郡珂那縣城茨 線木茂宮大遺縣府 置位
 橋 造橋 米五・五路道 基 米五・五築橋 員幅効有 門ル 米〇・五五四岸右 脚橋 基二造土礮鹿筋織ル又有一
 擬物 擬筋織式桁突 體橋 米五・五路道 基 米五・五築橋 員幅効有 門ル 米〇・五五四岸右 脚橋 基二造土礮鹿筋織ル又有一
 物 擬筋織式桁突 體橋 米五・五路道 基 米五・五築橋 員幅効有 門ル 米〇・五五四岸右 脚橋 基二造土礮鹿筋織ル又有一
 期行施 負請 法方行施 (分擴縣兩) 四五二三・七一 費路道圓 〇〇〇〇・〇八載築橋內 圖 五二三・七九 費工總 〇
 日五十月七年十同功變 日八九月四年九和昭工起

青岩橋——青岩手懸



新製品 低熱セメント發賣!!!



淺野マスコン・セメント (ASANO MASCON CEMENT)

・ 特 色 ・

- (一)比重重ク、凝結遅キコト。
- (二)コンクリートノ容重重ク、密度大ナルコト。
- (三)粉末ノ表面積大ニシテ、コンクリートハプラスチック且ツウオーカブルナルコト。
- (四)發熱少ク、コンクリートノ溫度上昇少キコト。
- (五)強度發熱比高ク、且ツ強度増進率大ナルコト。
- (六)空中收縮少ク、且ツ耐侵蝕性ナルコト。

・ 用 途 ・

一般ニ厚キ塊コンクリート工事 (Mass-Concrete) ニテ、容積變化又ハ不均齊應力ノ發生ヲ厭フモノ。(例、重力堰堤、砲壘、橋脚及ヒ機械基礎其他早期高強度ヲ要求セサルモノ、終局ノ硬化ノ低熱タルヲ要求スル工事)

淺野マスコン・セメントト米國 Boulder dam 用 低熱セメントトノ試験比較 (18 °C)

種 類	比 重	粉末程度	凝 結		水 和 熱 (H)Cal/g		空中收縮率 mm/10mm		
		cm ² /g	凝始	凝終	7 日	28 日	7 日	28 日	
淺野マスコン・セメント	3.23	1430	5:22	7:14	53.9	75.0	6.1	7.8	
米國低熱セメント	3.22	1330	3:17	5:25	52.3	72.3	6.9	10.0	
		モルタル強度 (kg/cm ²)						強度發熱比	
		1 日	2 日	3 日	7 日	28 日	7 日	28 日	
水量(%)		耐 壓 力 (C)					C/H		
淺野マスコン・セメント	7.0	81	196	303	434	659	8.1	8.8	
米國低熱セメント	6.5	94	164	226	345	487	6.6	6.7	
		抗 張 力 (T)						T/H	
淺野マスコン・セメント	6.8	11.5	21.8	31.1	35.1	41.3	6.5	5.5	
米國低熱セメント	6.3	13.0	18.6	22.5	27.4	36.4	5.2	5.0	

淺野セメント株式會社

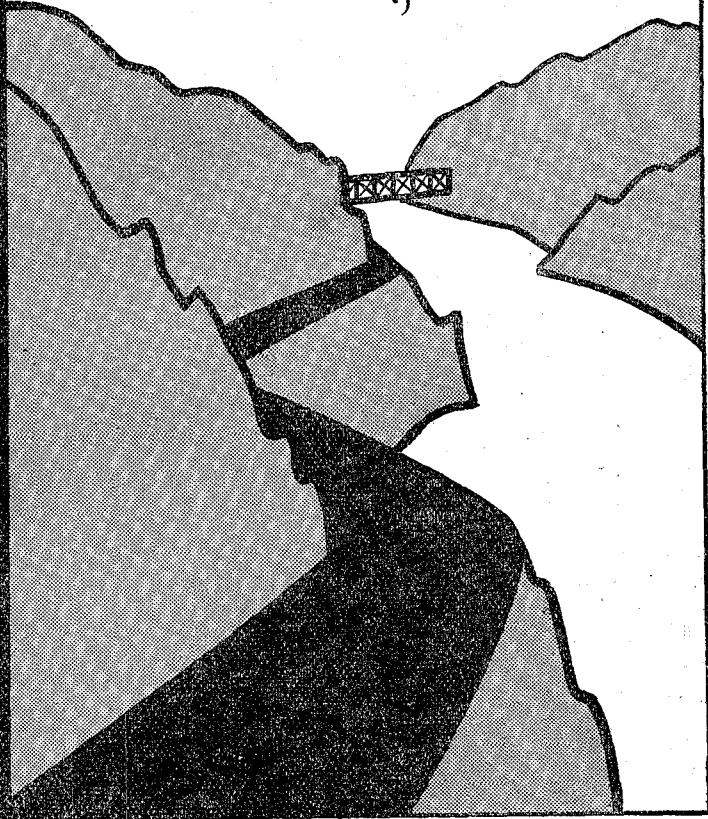
東京市麩町區丸ノ内ノ六 (海上ビル新館三階)

京城春川間

延長 五里半の

道路がエムラスに依り

乳劑舗装施工中



乳劑加熱舗装
エムラス販賣
一般土木工事

エムラス道路工業株式會社

東京市向島區香榎町西四ノ二 西電(曙)二六三七

道路鋪裝

專賣特許 鈴木乳劑

製造販賣並二一般鋪裝工事請負

本社 東京市京橋區銀座西六丁目六番地壹(數寄屋館)

日本アスファルト乳劑株式會社

電話銀座

(57)

一五八三番
四七二一番

道 路 鋪 裝

東邦工業合資會社

(カ タ ロ グ 贈 呈)

本 社 { 東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三
電話 青山 四九七三・八一四八

工 場 { 神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二
福岡縣小倉市富野町下道田一四一三ノ二

營業所 { 名古屋市・京都市・大阪市
岡山市・廣島市・小倉市

東邦工業

營業科目

{ 滲透用 } 瀝青乳劑
{ 混合用 } 製造販賣
各種鋪裝工事請負
一般土木建築工事請負

日本道路鋪裝株式會社

營業種目

瀝青乳劑鋪裝

瀝青加熱鋪裝

其他一般鋪裝

下水及道路

其他土木工事

各種
アスファルト
販賣

東京市麴町區丸ノ内二丁目二番地 丸ビル六階六〇二區

電話・丸ノ内(23)・長四八二九番・四九八二番

賣 販 造 製 材 材



負 請 事 工 木 土

新製品發賣(一)
耐酸ペイント「富國塗料」
製造販賣

營業科目

土ネ混鑛各種特殊富
木才凝滓種許クミア
工ソ土バアミニフ
事リ各ラスクエア
及デ種スフニラ
各チ加並アルタ
種ツ工ニルイ工
鋪ト品各ト乳青加
裝製製種及劑ト品
工造造碎タ製製
事及及石ル造造
請販販販販販販販
負賣賣賣賣賣賣賣

新製品發賣(三)

ミクニセメント防水強化劑

(コンクリート防水用)
モルタル急結用 製造販賣

社 會 式 株 土 ッ チ デ リ ソ 本 日



型 錄 進 呈

長野縣諏訪郡岡谷驛前通改修道路
ミクニ瀝青乳劑膠石鋪裝工事ノ狀況

內ルビ倉片四地番二目丁三橋京區橋京市京東
七六一三至一六一三自一三三五(56)橋京話電
階二ルビ倉片地番十九目丁二濱北區東市阪大
二五三六至一五三六自八四〇三至六四〇三自 局本話電
目 丁 九 町 通 市 幡 八 縣 岡 福
五三三一幡八話電

社 本
所 張 出
所 張 出

小倉石油株式會社專屬販賣店

ブローンアスファルト
ストレートアスファルト
ウォーターアスファルト



本店 東京市麴町區丸ノ内 仲六號館

電話 1654
丸ノ内 5014

出張所 大阪市西區土佐堀大同生命ビル

電話 3118
土佐堀 4343



事工装舗路道トルアブスア

事工装舗トルアフターオウ割乳青瀝

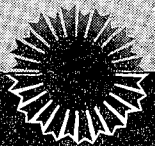
賣販理代トルアフターオウ・トルアブスア倉小

賣販造製グソイフルヒサア

社會式株木工市都

地番二四丁一橋京區橋京市京東

番八六二二(56)橋京 話電



Z N15



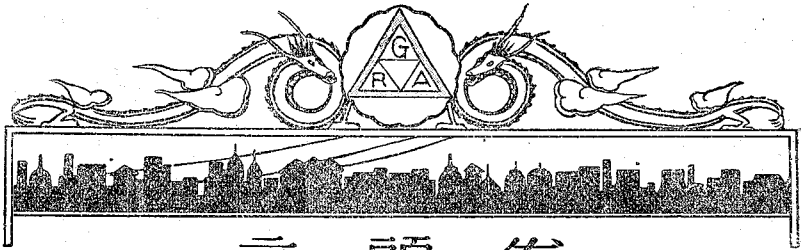
昭和十年

道路の改良

十一月一日

第七十卷
第十一號





言 頭 卷

國政問題としては其の解決を急ぐ案件が多々ある農村問題、勞働問題、中小商工業問題、國防問題、財政問題、土木問題等があるが國體明徵問題の爲めに殆んど顧みられないと思はるゝ程度に國民の關心を失つて居る。國體明徵問題は大切な問題であるが美濃部博士が其の主張を慎重に考慮し戒心し、政府に於ても國體と相容れざる憲法の解釋は之を嚴重に制止することを聲明し、國民は新聞紙を通じて國體に關する信念は憲法の解釋論では微動だも與へられないことを表示したに於ては最早何等の手段方法の盡すべき餘地がないと謂ふべきことである。

惟ふに非常の時局は今尙解消せられない、夫れは奮に國防の一方面のみでなく對外問題に於ても内政問題に於ても矢張安泰平和なる氣分を與へらるゝの國情でない、天災は頻りに到りて山に河に橋梁に道路に風水害の魔手は多大の破壊を加へ去つたのである、農民は愈々窮し、小商工業者は益々困しみ、民力の充實は望むべからざるの悲境に陥りつゝあるのである。政府も國民も協力一致し、秩序をとゝのへ、紀律を守り、所謂舉國同心歩調を亂すことなく奮勵精進を第一義とせねばならぬ秋である。然るに街頭に出て廢類的民謠俗謡のレコードの響に耳を打たるゝの時、主我的觀察に偏倚して暴力行爲を企つるものゝ内に軍人の参加することを傳へらるゝの時、陸軍佐官たる者が「軍部を愚弄する政府聲明」と題するパンフレットを刊行して政府と軍部との對立せるが如き誤解を國民に與へて政府に對する信用を失墜せしむるが如き振舞あるを見るのとき、僻遠邊陲の民に其々の三省協議して憲法に改正を加へ信教の自由を制して之に背く者に重壓を加へらるることあるが如く公演せる官人のあることを耳にするの時、吾曹は噫々此社稷を奈何せんやとの悲嘆の感を禁ざる能はざるものである。國家の秩序が保たれず國民は日夜不安を感じ、國政の批評は許されず、斯る結果は其の政治をして斷崖より墜落への途を辿らしむるに至るの虞なきを保し難い、斯秋此際吾曹は切に祈る設令少數の同志なりとも各其の業務に淬勵し嚮ふ所正を履み、行ふ所中を執り、協戮邁往以て善く人類の福祉に貢獻せんことに志し謹んで聖旨を奉戴し忠誠なる臣民たらんことを。(洸民)